ミニミニ案内

●サントリーミュージアム「天保山」ギャラリー「安藤忠雄建築展2009―対決。水の都　大阪VSベニス―」　大阪が生んだ世界的建築家・安藤忠雄が提案する水都復活をかけた大阪都市再生プロジェクトと、今月竣工したベニスの最新プロジェクトを紹介。両プロジェクトを見ながら新しい大阪都市像を考える。併せて、〈水〉をテーマとした安藤忠雄建築の全プロジェクトを模型、映像、ドローイング等で多角的に紹介。安藤忠雄建築の一つである同ギャラリーを舞台にした〈建築〉と〈水〉のコラボレーション。同氏のギャラリートークなどの関連企画も。七月十二日まで開催中（会期中無休）。十時半～十九時半（最終入場十九時）。当日大人九百円。地下鉄大阪港駅徒歩約五分。☎六五七七―〇〇〇一。

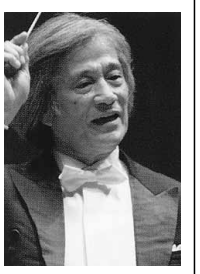
≪プンタ・デラ・ドガーナ再生計画（ベニス）≫photo by 小川重雄

●交通科学博物館・同志社大学鉄道同好会クローバー会写真展「鉄路輝く」　六月二十一日まで。同同好会の設立五十周年を記念して、卒業生を中心とする同会が開催。現役車両からSL、軽便鉄道まで。十～十七時入館、月曜休館（祝日なら開館し翌火曜休館、火曜も祝日なら振休なし）。高校生以上四百円、四歳～中学生百円。JR弁天町駅すぐ。☎六五八一―五七七一。

展示写真から「叡山電鉄」

●市岡小生涯学習ルームはじめま専科「気功と太極拳」　心と体のストレッチ。体力に自信ない人もOK。第一・三金曜午後七時半～九時、同校生涯学習ルーム室で。月千円。☎六五八三―一七九六大垣。

●関西フィルハーモニー管弦楽団「第213回定期演奏会」　聴覚を失っていく絶望の只中のスメタナが、故郷を慈しむ心と生命への賛美をもって作曲した「わが祖国」。風景や伝説を描いた六つの交響詩から成る。燃え盛るほどに熱い美しさと、チェコという地域を超越したロマン美を併せ持つこの作品を、東欧音楽への真摯な共感を持つ飯守泰次郎＝**写真**＝が指揮、壮大な自然讃歌を響かせる。七月十五日(水)十九時からザ・シンフォニーホール(JR福島)で。十八時四十分から指揮者プレトーク。S五千円、A四千円、B三千円、学生千円（全席指定）。☎六五七七―一三八一。



●弁天町市民学習センター・弁天シネマ倶楽部『風と共に去りぬ』　M・ミッチェルの原作を映画化した不滅の傑作。ヴィヴィアン・リー主演。①七月二十五日（土）十時から前編、十三時から後編（途中休憩一時間）②同十六時から前編、十八時半から後編（途中休憩三十分）。各回当日先着百二十人、三十分前から開場。軽食持ち込み可。一人一回八百円（前売七百円）。☎六五七七―一四三〇。

●オーボエの古部賢一が「大阪エキサイティングバロック」に出演　古部賢一＝**写真**＝をはじめ岩谷祐之（ヴァイオリン、関西フィルコンサートマスター）ら大阪ゆかりの一流アーティスト四人がヘンデル、テレマン等を演奏。七月十三日（月）十八時から大阪市中央公会堂で。全席自由、当日一般三千円。古部賢一は一九六八年池島生まれ。池島小、港中、大手前高から東京藝大へ。在学中に新日本フィル首席奏者に就任。甘く柔らかい音色と響き、バロックから現代音楽に至る幅広い様式に対応する優れた音楽性に高い評価。演奏会の問合せは主催のコンサ・ブリオ☎〇八〇―一五二二―四七七八へ。チケット予約は☎〇五七〇―〇二―九九九九チケットぴあへ。

●港図書館の催し　①夏の子ども会＝六月二十七日（土）十四時半～十五時半、区民センター二階会議室で。港子ども劇場による人形劇「ぐりとぐらのかいすいよく」、パネルシアター「あめふりクマの子」など。無料。定員五十人（当日先着順）②図書ボランティア養成講座＝港図書館を拠点としたグループに参加し、港区内の保育所や幼稚園等で読み聞かせ等をするボランティアを募集。七月七日～八月十一日の毎火曜全六回、市立中央図書館等で。定員十五人。申込〆切六月三十日。原則として全講座受講可能な人。受講費無料（交通費等各自）。一～四回は一時保育あり③「ロハスで暮らしを楽しむ」展＝七月末まで開催中。健康的なエコライフを実践するのに役立つ本を紹介④「あかちゃんのおたのしみ会」＝毎月第一金曜十一時から。赤ちゃんと保護者が対象⑤おたのしみ会＝毎週水曜十五時半から。幼児を対象に絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊び、わらべうた紹介等。☎六五七六―二三四六。

●アートスペースZtoA　①「樹のある風景」展＝六月十四～二十三日（二十日臨休）②「人物画と静物画」展＝七月二～七日。開館は十一～十八時（火曜十六時まで）、水曜定休。入館無料。弁天四―一一―四（ピアック西五十メートル裏通）☎六五九九―七九七七。

ペットニュース

●可愛い子猫を貰って　生後一カ月。性別不明も躾ずみ。☎090・8190・7799谷口。

ひとくちPR

（1行＝税込1000円）

●洋服サイズ直しします　自分でやってみたい方には出張教授。☎080・3763・5164セツ。

●ポータブルミシン譲って下さい　☎090・5898・1945ソネ。

読者プレゼント

※いずれもハガキに今月号の感想とプレゼント名を書いて20日必着で港新聞へ。

●サントリーミュージアムギャラリー「安藤忠雄建築展2009」（上段に案内）招待券をペア5組に。

●交通科学博物館（上段に案内）招待券をペア3組に。

●弁天シネマ倶楽部『風と共に去りぬ』（上段に案内）招待券を3名様に。

●関西フィル「第213回定期演奏会」（上段に案内）A席招待券をペア1組に。

●あんがいおまる一座『星の船』（7面に案内）招待券をペア3組に。

平和のため 戦争体験 語り継ごう

今月の語る人

福田昌夫さん(82)(元市岡町)

＜上＞

酷寒のシベリア抑留

粗末な食糧で栄養失調に

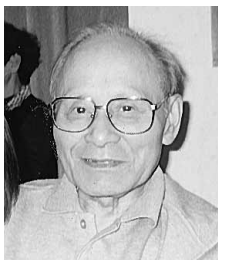
今月は、終戦時の過酷なシベリア抑留を生き延び、戦後は交通産業に身を置いて日本の復興を支えてこられた福田昌夫さんに、その体験を語って頂きました。

◇

私は大正十五年、韓国の釜山で生まれました。満州事変から盧溝橋事件、ノモンハン事件へと戦火が拡大する中で育った私は、母親に手を引かれて出征兵士を見送ったり、家に泊った軍人から鉄砲や刀を見せてもらったりして、すっかり軍国少年になっていました。

◆軍属から現役兵に

職業学校に通っていた昭和十六年十二月、米英と戦争が始まりました。卒業と同時に「軍人志望」を家族に伝えましたが、反対されたため、軍属（軍隊の中で働く非軍人）として満州の陸軍部隊に入りました。飛行機の耐寒研究などをする部隊で、私は図面作成や速度試験に携わりました。



昭和十九年六月、海軍鹿児島航空隊に入隊。念願の軍人となりましたが、「胸部疾患」で除隊。元の職場へ軍属として復職した後、翌二十年一月に兵隊検査に合格。再び現役兵となり満州の陸軍部隊に入隊しました。

◆終戦で武装解除され

同年八月八日、ソ連が日本に宣戦布告。十五日に敗戦。私たちの部隊は武装解除され、ソ連軍監視のもと貨車で北へ向かいました。

黒竜江を渡り、シベリヤへ足を踏み入れると、一面、雪で真っ白でした。隊長から「本日より捕虜として使役をし、来年、港の水が融けたらウラジオストックから帰国する」と訓示を受けました。十一月三日、抑留生活の始まりでした。

貨車は大草原を西へ走り、ムヒナという寒村に着きました。以前にドイツの捕虜がいた収容所でした。鉄条網が張り巡らされ、監視櫓からコンボーイ（警戒兵）が監視していました。

◆危険な伐採作業

課せられたのは伐採作業でした。朝食後の長い点呼が終わると、腰まで雪に埋まりながら森林へ向かいます。遅れ出すと警戒兵がマンドリン銃を突き付け、「ドバイ、ドバイ」（早く早く）と急き立てました。

見渡す限りの森林地帯で三人一組の作業が始まります。木は白樺や松。ノルマは四～五本。よく伐れない道具に当たると悲惨でした。まずは雪を素手でかき分けるのですが、零下数十度の雪は痛く、五分と持ちません。何度も手を擦りながら続けました。伐り方が悪いとどの方向へ倒れるか分らず、雪に足を取られて圧死した者もありました。

作業が終わるのは四時頃。既に暗くなっています。帰りつくとまた点呼。酷寒の中で一時間もかかりました。夕食が終わって休憩を取っていたら「積み込み作業に集合」と声がかかることがありました。初年兵の私たちは仕方なく応募し、また作業に出ました。

◆半年でガリガリに

限界を超えた労働の上、食糧といえば、朝は高粱の粒が三十粒ほど入った水炊きの粥を飯盒の蓋に六分目。昼は掌に乗るほどの高粱、大豆、玉蜀黍、燕麦等の雑穀を作業の合間に雪で炊きました。夜は黒パン二百五十グラムと高粱の水炊きスープを飯盒の蓋に六分目。

これではいかに頑健な体の持ち主でも半年もすればガリガリに痩せてしまいます。四十前後の補充兵の大半が栄養失調でシベリアの露と消えました。（つづく）

アスベスト不安のある人は継続的に 肺がん検診を
8月18日（火）AM9:30～10:30
港区保健福祉センターで＜要予約・40歳以上＞
X線撮影無料・喀痰検査400円
※6月26日（金）、6月30日（火）には結核健診も
詳しくは☎6576-9882同センターへ

サラ金・クレジットローンなどを利用中の方
違法なグレーゾーン金利の被害者になっていませんか?!
弁護士の無料法律相談実施中!
あなたに合ったベストな解決方法は必ずあります《秘密厳守》
安心して お任せ下さい!
内緒のまま でも対応OK!
親切、ていねい、気軽に相談できる
大阪弁護士会所属 黒川・谷 法律事務所
弁護士 黒川 勉（日弁連登録番号15687）
弁護士 谷 憲和（日弁連登録番号39554）
北区西天満2-8-1大江ビル411号室　地下鉄・京阪「淀屋橋駅」歩7分、JR「大阪駅」歩15分　☎06-6130-7880代〈受付:月～金曜/10～18時〉